

## 5 主な快適環境づくりの事例（昭和62年度新規施策）

### (1) 緑とのふれあいの場の創造

	事例名	市町村域	実施主体	概要
1	「施設緑化10カ条」（みどりの憲法）の策定	府 域	府 (建設部)	昭和62年12月、「大阪みどりの10年推進方針」に基づき、建物の周りの緑化を、景観、管理などに配慮しながら、効果的に推進するための手法を、わかりやすく10カ条にまとめた。府有施設の緑化ばかりでなく、民間施設に対しても実施例をPRするなど、総合的な推進を図るものとする。
2	中央環状線グリーンキャンピープラン計画	門真市 東大阪市	府 (土木部)	昭和65年開催予定の「国際花と緑の博覧会」会場への主要アクセスとなる大阪中央環状線の緑化の充実を図る。樹木間隔を密にし、樹冠の重なり合うプロムナードを創出し、大阪を代表する緑豊かな道路とする。
3	深井緑地（花の小径）整備事業	堺 市	市	泉北1号線に隣接する深井清水町の区画整理事業に伴い、清水はざま公園を含めた区域を緑地として整備を進めたものである。緑地では、四季の花を楽しむことができ、東西に伸びる緑道は開放的な散策路として利用されている。
4	新田緑道築造工事	大東市	市	水路敷跡地を、快適な緑化環境を創造するために、四季に応じた樹木を配置した散策路として整備し、市民に緑化推進の必要性について認識を促す。
5	公共施設成木植栽事業	貝塚市	市	市内一円の植栽可能なオープンスペースのある児童遊園、86か所を選び8か年計画（昭和62年～昭和64年）で成木の植栽を行い、樹木管理を各町会等に依頼するなど市民の緑化に対する意識の高揚を強く図っていくものである。
6	水と緑のネットワークの形成	松原市	市	「健康で住みよい豊かな都市」づくりを目指し、河川改修による親水空間の創出や、公園整備により市内を水と緑のネットワークによる快適環境空間として再生していくものである。

(2) 水とのふれあいの場の創造

	事 例 名	市町村域	実施主体	概 要
1	二色の浜海岸環境整備事業	貝塚市	府 (土木部)	昭和62年6月に建設省の重点施策として大臣認定を受けたコースタル・コミュニティ・ゾーン整備計画に関連し、良好な海浜環境を核とした「海とのふれあいの場」を創出。砂浜の沖出し(養浜)などの海岸整備や海浜緑地等を充実する。
2	大和川下流支川浄化対策事業	堺市 松原市 藤井寺市	府 (土木部)	大和川下流支川は堺市、松原市、藤井寺市等の密集市街地を貫流し、近年の都市化に伴う汚濁が進み、周辺環境を害している。そこで汚泥の浚せつ及び浄化施設の設置を行い、水質改善とともに、川に人が接することのできる空間の創造、いわゆる親水性をもった河川整備を実施するものである。
3	下水道水緑景観モデル事業(ウォータースクエアプラン)	豊中市	市	自然に満ちあふれた憩いの場をとりもどすため、水路整備にあわせて、清らかなせせらぎと緑あふれる散策路をつくり、快適環境を創造するものである。市内の中西部より南部へ流下する豊能南部雨水幹線水路を昭和61年度に「雀舞い飛ぶ自然の親水水路」として整備し、昭和62年度では、この事業を軸に当水路の下流排水路の整備を実施している。

(3) 歴史的文化的雰囲気醸成

	事 例 名	市町村域	実施主体	概 要
1	仁徳天皇陵周遊路整備事業	堺市	市	世界最大の陵墓である仁徳天皇陵及びその周辺環境の大きさを市民のみならず、広く観光客に対し体験させるため、歴史的重みを保持し、御陵のイメージを反映した外周道路の整備を行う。市制100周年にあたる昭和64年度に完成予定。
2	枚方市「市民の森」	枚方市	市	昭和62年5月にオープンした「市民の森」は、2.8haの広さがあり、続古今集でも歌われた「鏡伝池」の周囲を植樹して整備したもので「花の森」や「せせらぎの森」などの8つのゾーンが設けられ、歴史のロマンあふれる憩いの場を創出している。

(4) 魅力ある都市景観の創造

	事例名	市町村域	実施主体	概要
1	既設府営住宅景観改善事業	府 域	府 (建築部)	定住魅力ある地域環境の向上を図るため、景観改善のモデル事業として、府営高野大橋住宅において、住棟妻壁、給水塔のデザイン改善、コミュニティ道路の整備、テレビアンテナの共聴化、緑化等を実施した。
2	大小路線シンボルロード整備事業	堺 市	市	魅力ある都心部の環境の形成と活性化を図り、歩行者空間を確保するため、車道を縮小し、歩道拡幅を行い、自然石と特殊レンガで舗装し、あわせて街路緑化の推進を図る。
8	花ステーション計画	堺 市	市	安全で快適な通行空間及び都市景観の向上を図るため、市民の目にふれやすい駅前広場を中心に四季折々のフラワーポットを設置するなど、街の玄関としての駅前周辺の環境整備を進めている。

(5) 憩いとふれあいの空間の創出

	事例名	市町村域	実施主体	概要
1	学園ロード整備事業	堺 市	市	大阪府立大学周辺の道路を地域住民及び学生にとっても快適な緑あふれる歩行者空間を創出するため、歩道のカラーブロック舗装や四季が感じられる植樹帯の設置等を行い、やすらぎのある快適な歩行者空間の創出を進めている。
2	堺市南部丘陵地域整備基本計画	堺 市	市	貴重な緑資源の積極的な保全と活用を図るため、南部丘陵地域における自然の持つ多面的機能を十分に生かし、地域農業の活性化と市民に対して憩いと安らぎと収穫の喜びを与えるレクリエーション農業を進める。